

企業の採用難が叫ばれ始めた2014年、1人の新卒採用枠に7000人の学生が押し寄せた会社がある。中小企業の採用を支援するトゥモローゲート(大阪市)だ。ユニークな仕組みが注目を集め、企業のリピーター率は9割を突破。知名度は学生の間でも高まった。西崎康平社長(34)は就活サイトだけでなく、伝えられない中小の魅力を生徒に発信する。

天井から床まで一面真っ黒のオフィス。入り口の正面には「日本一ブラックな会社へようこそ」というメッセージが浮かぶ。トゥモローゲートはホームページからオフィス、名刺まで黒色に統一している。

「ブラックな会社へようこそ」は同社が初めて自社の新卒採用を実施した14年から掲げるメッセージだ。ブラックのイメージが忌避される中で逆に多くの学生の目を引いた。「中小企業は興味を持ってもらうところから始まる」と西崎社長は話す。

実際、イメージ戦略から始まる同社の採用支援の事例は個性的だ。会社の特色を基にホームページからオフィスの設計まで提案。説明会に学生を集めるための情報発信や説明会の企画も手掛け

# 中小の採用 一括支援



トゥモローゲート社長 西崎 康平氏

## 魅力生かし学生つかむ

採用の支援事業を始めて5年目となる今年、実績は100社に届こうとしている。

福岡県を中心に飲食店を展開する企業の案件では、同社のサービスを学生に提供する体験型の説明会を開催した。学生の好きな色のドリンクや一人ひとりに向けたメッセージカードを添えた。16年春の採用には1000人を超す学生が説明会に来場。内定の承諾率が2割程度と呼ばれる飲食業界で、5割に相当する9人が入社を決めた。



トゥモローゲートは会社のイメージを黒に統一。説明会でも黒色のドレスコードを設けた(大阪市北区)

## トップの挑戦

にしぎき・ユフへい 2005年に西南学院大学を卒業。大学院への進学を目指していたが家庭の事情から断念し4回生の秋から就職活動を始めた。人材コンサルティング会社を経て10年にトゥモローゲートを創業

向けの就職支援。リーマン・ショック直後で需要は旺盛だったが、学生一人ひとりに入れ込んでしまい、数をこなせない。11年には中小企業向けに雇用助成金の申請支援を始めたが「もっと魅力的なサービスを手掛けられなくては」という思いを捨てられなかった。

「企業の負担を減らしながら、学生との間のギャップを減らせば」。西崎社長は学生が企業を探すのではなく、企業が学生をスカウトするタイプの就活サイトを目指す。一律負担ではなく、成功報酬型にして企業の負担を減らしながら、学生と企業のマッチング効率を高める。

採用支援事業にたどり着くまでには迷走の連続だ。初に手掛けた事業は学生思いの源泉は創業前の仕事で手掛けた大阪市のアパレル企業だ。従業員10人、靴を作る会社の採用活動を成功させるミッション。20代の西崎社長は割引券付きの工房見学を開いた。見学会後には友人と訪れる学生が増え、1800人超が面接に押し寄せて大阪市の中央公会堂を埋めた。現在はデザインやウェブサイトの制作者も集まり、企画制作の幅は広がった。今年から東京と福岡に事務所を開設し、関西圏以外の会社の開拓をばかりだ。(江口良輔)

## 地方企業の採用支援

### アイプラグ ネットで就活生募集

新卒採用サイトを運営するアイプラグ(大阪市、中野智哉社長)は地方の中堅・中小企業の新卒採用を支援する事業を始め

る。大学生が登録するオンラインの就職支援サービス「オフアールボックス」を活用。地方企業が集まる合同説明会などに学生

を誘致する。第1弾として関西企業を集めた就活イベントを21日、大阪府やりそな銀行と組み東京都内で開いた。化粧品メーカーのピ

アス(大阪市)や梱包・包装材の親和パッケージ(神戸市)など6社が参加。関西圏で働くことに

興味がある学生20人以上が集まり、お酒を飲みながら企業の担当者に近い距離で話をした。就職市場は企業が採用予定人数を確保できない「売り手市場」が続いている。このため、中堅・中小企業が単独で説明会を開いても学生を集まり

にくい。オフアールボックスには現在、2017年卒業の学生が約3万7千人登録しており、ネットを通じて説明会に勧誘する。地方では人口が減少しており、地元の学生を採用するだけでは事業拡大に必要な人材確保が難しくなっている。アイプラグは今後、ほかの地方自治体とも連携して、地方企業の採用を支援する。

### 音声データ共同開発

リアルワールド 東大発VBと

リアルワールドは東大発ベンチャーのフェアリーデバイス(東京・文京)の共同開発を始めた。フ

エアーデバイスには音声認識技術を持つベンチャー企業だ。同社の知見を活用して求められる音声データを調査し、リアルワールドがデータをまとめて他社に販売する事業の展開を目指す。

音声精度高く認識するAIを開発するには多様な発音や環境音が混ざった音声データを大量に集める必要がある。まず

新しいテレビを買おうと通販サイトをのぞくと、広告にテレビの新商品が表示される。今では当たり前になった販促手法だ。システム開発を手掛けるサイバーエリアリサ(静岡県三島市)はネット上の住所にあたる「IPアドレス」を使ったデータベースを広

